

(指定様式)

団体調書【活動ステップアップ部門】

(1) 団体概要

団体名	親子コミュケの会	HP 等 URL	https://oyako.booo-log.com https://www.instagram.com/oyacomyu/?hl=ja
団体種別と 設立年月	<input type="checkbox"/> NPO 法人 (年 月) <input type="checkbox"/> その他法人 (年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体 (平成 19 年 8 月)	活動分野	メイン 13、14 他 3、7、12
代表者名	役職名：代表 氏 名：吉川 良	会員数	15 名
団体連絡先 (申請担当 者)			

(2) 会員名簿

	氏名	役職名	住所	生年月日
※役員が 5 人以上の場合は、別に名簿を添付してください。				

(3) 団体の活動目的

活動の目的・目標	孤育てをなくしてみんなで子育てを応援！子育てにやさしい街にチャレンジし、子育てに理解ある人を、増やし自ら主体となって行動できる人や場つなぎを目指します。こんなミライを描いています ●『孤育て』中の子どもへの虐待やストレスが減る ●子育ての悩みの相談ができ、誰でも情報を受け取れる（特にママ） ●子育ての悩みを話す場や人に会い、楽しく笑顔で、安心して子育てができる ●お店などが子連れのお客さんが利用しやすい、子連れに優しい店になっていく ●子育て卒業世代や、子どもの居ない人もみんなが子連れに優しい人になっていく
活動の内容・活動実績	●ベビーマッサージ、リトミックなど未就園児講座の開催。年 12～18 回 ●書き初め、色遊び、体操あそびなど子供の体験を増やせる講座の開催。年各 1 回 ●未就園児親子、パパなどの交流会の開催。年数回 ●SNS・web を通じて子育て世代が 子育て情報発信。SNS グループにより人がつながれる仕組み作り。

(4) 補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

● 報償費 73,000 円	子育て向け講座など 講師代。
● 交通費 100,000 円	スタッフ活動交通費。
● 消耗品費 51,320 円	制服リユースのための資材。イベント参加出展用資材（ゲーム、のぼり棒など）。文房具。
● 印刷製本費 39,000 円	団体、イベント紹介ちらしを広く広報（公共イベントに対して子ども園、交流館、学校など公共施設へ）協賛へもつなげる
● 委託費 20,000 円	ホームページに商品販売ページの追加
● 使用料 1,000 円	講座使用料
● その他 20,000 円	制服保管場所代

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <p>・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。（趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか）</p>	<p>●豊田市は結婚、出産で引っ越された方が多く、出産時に身内が近くに居ない方が多くいるため、孤独を感じやすい方が多くいる。講座、交流会などを通してすこしでもつながりが出来るように活動。（過去の参加者から、子供が小さいときに救われたとの感想もあった。ブログを見て一人じゃないと思った など）</p> <p>●市内の子育て支援活動の団体は沢山あるのですがそれを知らずに子どもが育ってしまうことがあるのでできるだけ多くの情報を子育て世代に発信していく活動。</p> <p>●後輩子育て家庭への援助やお下がり文化の復活・継承。物を大切に作る心の育成のために制服・子育てリユースバザーを開催。</p>
<p>【資金】</p> <p>・団体の自主的な財源を確保しようとしているか（会費・参加費等）。</p>	<p>●会費の徴収、事業参加費の確保、イベント出展での資金確保。</p> <p>●対外的に活動の広報・PRにより協賛金の確保。</p> <p>●制服・子育てリユースバザーを通しての資金確保。</p>
<p>【継続性】</p> <p>・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。</p> <p>・適正な事業計画が作成されているか。</p>	<p>担当により責任、やりがいを優先。やれる人材でやれる範囲で担当を決め無理のない活動をしている。過去の開催経験を生かして、基本同じ事業を繰り返す。昨年始めた制服リユース活動で需要があることを確信し今後も展開していく。いろいろな世代の親が参加することにより、団体メンバーの世代循環を目指す。常に子育て情報収集活動。</p>
<p>【組織強化】</p> <p>・団体の組織強化への取組が明確になっているか。</p> <p>・必要な資源（人・モノ・情報）の確保の方針や計画が明確になっているか。</p>	<p>団体内の役割分担が見える化し、毎年事業ごとのテーマを相談して決定。講師会員含め、子どもが小さいメンバーの新たな確保。口コミのSNSグループ（ママグループあり）での情報確保。他の子育て関係グループの交流。学校、地域コミュニティや公共施設との連携。年1回の総会、月1回程度の役員会。</p>